

The story of a life and a philosophy

A portrait of Toshihiko Izutsu

The Eastern

A film by: Masoud Taheri



ドキュメンタリー
映画

シャルギー(東洋人) 井筒俊彦のドキュメンタリー映画

監督：マスウード・ターヘリー

「私の心を支配してきた東洋哲学の共時的構造化の方法論的射程を、この機会に思い切って測ってみたいという気持ちに動かされたからでもある。たとい結果的には、画餅に帰したにしても、とにかくその試みに手をつけることができたということだけで、今のところ私は満足すべきであろう」。

井筒俊彦 『意識と本質——精神的東洋を求めて』、岩波書店、1991年、415-416頁。

The story of a life and a philosophy

A portrait of Toshihiko Izutsu

The Eastern

A film by: Masoud Taheri



哲学者、井筒俊彦(1914-1993)をめぐる世界初の伝記映画。彼が英語で執筆した言語学神学と比較哲学は、日本国外で名高い。しかし、長く温めてきた「東洋哲学」の構想は日本語で発表されたものの日本国外では知られず、国内でも忘れられていた。一方、井筒は長い間イランで活動し、イランの近現代思想に深く影響を与えている。本映画は、イラン出身の監督、マスウード・ターヘリーが、井筒の友人や弟子にインタビューし、貴重な証言や新資料を含む画期的なドキュメンタリーである。偉大な哲学者の歩みと知られざる顔が、生き生きと描き出される。

ジャンル	テーマ	言語	字幕	時間	値段(税込)	Code
ドキュメンタリー	哲学 歴史 思想	音声: 日本語、ペルシア語、 英語、フランス語、等	英語	130分	¥3,800 \$ 25.00	SHPF002

制作&著作権:チェヘルダード・フィルム社

配給:株式会社Kimiya

日本語字幕:RMU外語編集株式会社

BS1 スペシャル
 イスラムに愛された日本人
 ～知の巨人・井筒俊彦～

BS1 11月8日(金) よる11時

- 出演 サヘル・ローズ
- 語り 小早川正昭
- ディレクター 小中和哉
- 制作統括 藤田英世 大門博也 小早川佳之
- 制作 NHKエンタープライズ

- プロジェクト統 / CEO 加藤邦英 COO 柴田正 CFO 渡辺康弘
- プロデューサー / 小椋悟
- 撮影 / 近藤武 吉住卓
- 音声 / 中西雅人
- ヘアメイク / 深山健太郎
- 取材 / 伊藤義将 原測勝仁
- コーディネーター / フローラ・ジャスミン
- 編集 / 垣田篤人
- 音楽 / キットカットクラブ スキャット 高遠彩子
- 墨絵アニメーション / 堀川弥一郎 かんばこうじ 神林裕介
- 監修 / ザキプール・バフマン 安藤礼二
- 制作・著作 / NHK プロジェクト映

BS1
 11月8日(金)
 よる11時

この映画は、これまでマギル大学、スタンフォード大学、MIT、オックスフォード大学、エジンバラ大学、明治大学、両国大学などで上映されているドキュメンタリー映画である。また、BBCペルシアのウェブサイトにおける紹介含め、様々なウェブサイトやブログにて、本映画についての記事がペルシア語、日本語、英語で書かれている。さらに、NHKは本ドキュメンタリーに基づき、サヘル・ローズ主演により「イスラームを愛した男」というタイトルの番組を作成。2019年11月8日にBS1チャンネルで放送された。

インタビュー: 松本耿郎, 黒田壽郎, 鎌田繫, 小野純一, 澤井義次, 若松英輔, 野元晋, 小林春夫, 竹下正孝, メヘディー・モハッゲグ, サイド=ホセイン・ナスル, ヘルマン・ランドルト, ジェームズ・モリス, イブラヒム・アラシュ, バフマン・ザキプール, 他多数。



日本の著名なイスラーム学者・哲学者、井筒俊彦は 1914 年 5 月 4 日に東京で生まれた。彼の父は曹洞宗に深い関心を持っていたため、幼少の頃より井筒は、座禅と曹洞宗の教典を読むよう強制された。この体験を良く思わなかった井筒は、禅と仏教思想から距離

を置き、言語学に転向することとなった。その結果、彼は 30 の言語を学び、それが彼の哲学システムの構築と編纂の最も強固な基盤となった。

井筒は 1934 年、慶應義塾大学文学部に入学し、折口信夫 (1887-1953) の講義に魅了されながら、指導教授として西脇順三郎 (1894-1982) に学んだ。様々な言語の学習中、アラビア語に興味を持ち、2 人のタタール人、アブドゥルラシド・イブラヒムとムサー・ジャールツラーとの出会いを通じて、アラビア語とイスラーム思想を深く学んだ。この分野における井筒の知識と習熟は、1951-58 年にかけて、彼が『コーラン』を日本語に翻訳することにつながった。この翻訳は、1957-58 年に岩波書店から 3 巻に渡って出版

され、アラビア語からの直訳としては日本初であり、日本語への『コーラン』訳書として 4 番目のものと認識されている。

1959 年、井筒はロックフェラー財団の奨学金を受けて、2 年間中東とヨーロッパを訪れた。奨学金期間がほぼ終わるころ、彼はマギル大学イスラーム研究所からの招待を受け、しばらくカナダに滞在した。

井筒はカナダで、イスラーム古典文学を教える一方、『コーラン』の意味構造 (コーラン意味論) とイスラーム神学に関する 3 つの重要かつ比較的新しい作品を出版し、それによって国際的な評価と特別な地位を獲得した。

さらに、井筒はカナダ在住時、イランの研究者メフディ・モハッゲグ

(1930-) と、スイスの研究者ヘルマン・ランドルト (1935-) と親しくなった。ランドルトを通じて井筒はエラノス会議に紹介され、モハッゲグとの交流と協力により、「マギル大学イスラーム学研究所テヘラン支部」を設立した。井筒は約 10 年間イランに滞在し、上記の研究所に加えて「イラン王立哲学アカデミー」、そして「イラン諸文化研究センター」にて教鞭を執り、研究を重ねた。

1979 年のイラン革命後、井筒は日本に戻り、長年の活動と研究の成果を、東洋哲学の構造的枠組みとして概念化しようと努めた。彼はヴェーダーンタ、イスラーム神秘主義、道教、仏教、カバラなどの東洋の哲学システムを分析し、これらの哲学間の構造的な統一性

を見出そうとした。井筒は、自身の哲学システムを「東洋哲学」と呼んでいる。

井筒はイスラームと東洋哲学に関する長年の研究の末、1993 年 1 月 7 日に



生涯を閉じた。彼の墓は、北鎌倉・円覚寺の塔頭の一つ、雲頂庵に安置されている。

井筒俊彦の主な著作】

日本語の著書

1. 『意識と本質—精神的東洋を求めて』、岩波書店、1983 年/岩波文庫、1991 年
2. 『意識の形而上学—「大乘起信論」の哲学』、中央公論社、1993 年/中公文庫 2001 年
3. 『ロシア的人間—近代ロシア文学史』、弘文堂、1953 年/中公文庫、1989 年
4. 『イスラーム文化—その根底にあるもの』、岩波書店、1981 年/岩波文庫、1991 年
5. 『コーランを読む』、岩波書店〈岩波セミナーブックス〉1983 年/岩波現代文庫 2013 年

英語の著書

1. *God and Man in The Qur'an:*

Semantics of the Qur'anic Weltanschauung. Tokyo: Keiō University Press, 2008.

『クルアーンにおける神と人間—クルアーンの世界観の意味論』鎌田繁監訳、仁子寿晴訳、慶応義塾出版会、2017年。

2. *The Concept of Belief in Islamic Theology: A Semantic Analysis of Īmān and Islām.* Tokyo: Keiō Gijuku Daigaku Shuppankai, 2016.

『イスラーム神学における信の構造—イーマーンとイスラームの意味論的分析』鎌田繁監訳、仁子寿晴・橋爪烈訳、慶応義塾出版会、2018年。

3. *Ethico-religious Concepts in the Qur'ān.* Montreal: McGill Queen's University Press, 2002.

『意味の構造—コーランにおける宗教道徳概念の分析』牧野信也訳、新泉社、1972年。

4. *Toward a Philosophy of Zen Buddhism,* Tehran: Mu'assisih-yi Pazhūhishī-yi Hikmat va Falsafa-yi Iran, 2003.

『禅仏教の哲学に向けて』野平宗弘訳、ぷねうま舎、2014年。

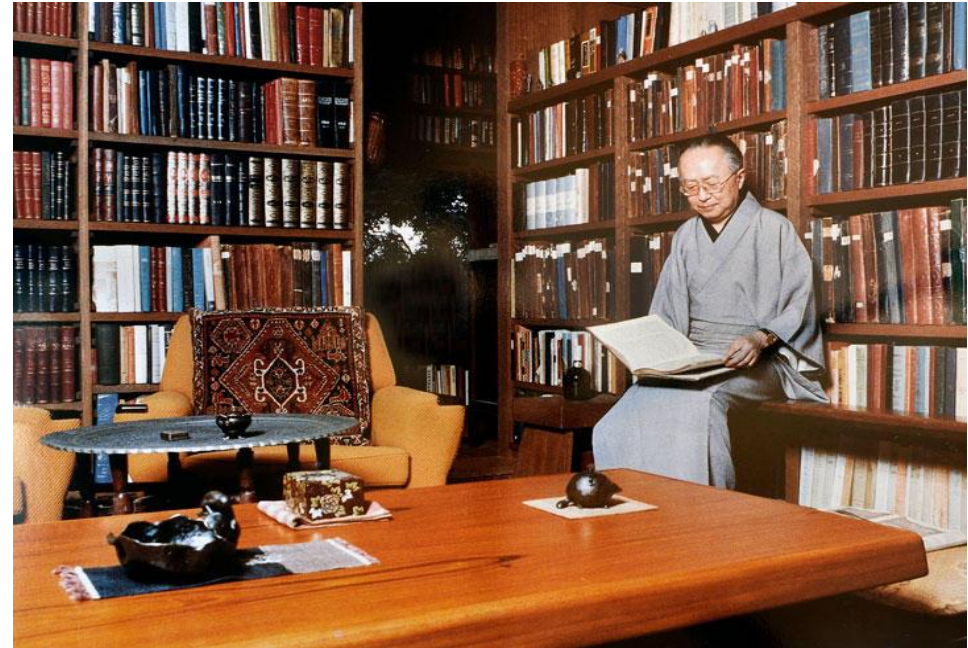
5. *Sufism and Taoism: A Comparative Study of Key Philosophical Concepts,* California, University of California Press, 2016.

『スーフィズムと老荘思想—比較哲学試論』（上・下）仁子寿晴訳、慶応義塾出版会、2019年。

6. *Concept and Reality of Existence.* Tokyo: Keiō University Press,

1971.

『存在の概念と実在性』鎌田繁監訳、仁子寿晴訳、慶応義塾出版会、2017年。





マスウード・ターヘリー
イランの映画監督、脚本家、
研究者、プロデューサー。
1980年生、テヘラン在住。
テヘランのシャヒード・ベヘ
シュティ大学で修士号を取得
し、1996年に映画業界での
キャリアをスタート。これま
で主に、哲学・神秘主義を題
材とした作品を発表している。

主な映画作品

1. *Hissa-yi Raḥmat* / ラフマートの共有. Feature film, 2011.
2. *Sharqī: About Toshihiko Izutsu Japanese philosopher* / 東洋人—井筒俊彦ドキュメンタリー映画. Feature film documentary, 2018.
3. *Mustashriq: About Henry Corbin French philosopher* / 東洋学者—アンリ・コルバンドキュメンタリー映画. Feature film documentary, 2019.
4. *Al-Kāfī: About Muḥammad ibn Ya‘qūb Kulaynī, Shī‘a ḥadīth collector the 10th century* / アル・カーフィ——シーア派の10世紀のハディース学者であるムハンマド・ブン・ヤアクー

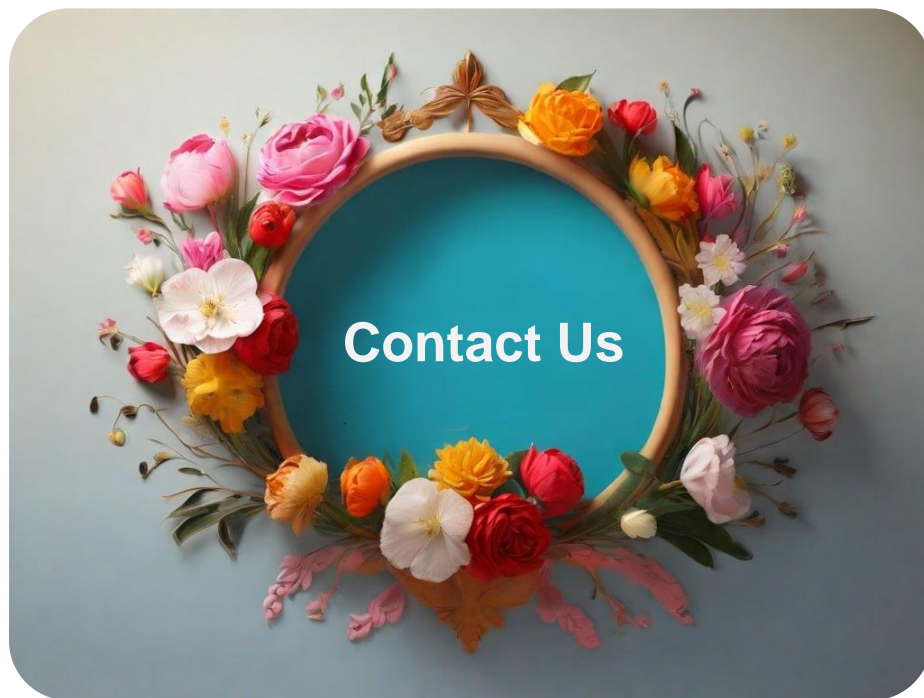
ブ・クライニードキュメンタリー映画. Feature film documentary, 2023.

主なテレビ番組

1. 『イスラームに愛された日本人～知の巨人・井筒俊』、NHK BS1 チャンネル、現地撮影協力、2019
2. 『世界はほしいモノにあふれてる—恋しいペルシャ 美の源流』、NHK 1、現地撮影協力、2020
3. 『所でナンジャこりゃ！？——世界の衝撃映像連発&ヒット商品の秘密を大公開』、テレビ東京、現地撮影協力、2022

著書

A‘llāma: Life and Works of Shamsu‘d-Din Muḥammād Amulī,
Tehran: Nashr-i Nāmāk, 1401s/2022.



www.kimiyacast.com



ホーム



お問い合わせ